

インフルエンザワクチン広報

第1号 2017.9.24 出版

文責 ICC わたなべゆうき

Q. インフルエンザとはどんな病気？

皆さんご存じのインフルエンザ。これは、のどの痛み、頭痛と言ったかぜ症状に加えて高熱を出し、ぐったりしてしまう感染症です。ひどくなると肺炎になったり、けいれんを起こしたりして入院が必要になることもある、とても怖いウイルス感染症です。

また、非常に感染力が強く、熱が下がってからも人にうつるため、発症してしまうと軽症であっても、保育所や学校を約1週間休まなくてはなりません（学校保健法で定められております）。発表会や受験がある大切な時期、さらにクリスマスやお正月などの年に一度のイベントがインフルエンザのために台無しになってしまつては大変です。

そんな悲しい年末・年始にさせないためには予防が大切です。お出かけの時はマスク、帰ったらうがい・手洗い、そしてワクチン接種をし、みんなで予防を心がけ、家族・地域の人たちを守りましょう☆

Q. 予防接種はいつするの？

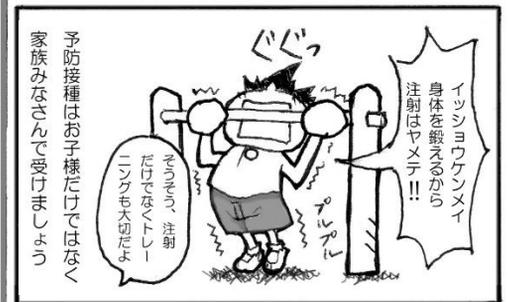
予防接種をする時期ですが、元来は接種後6か月間は効果が持続すると言われていました。しかし、近年の報告では10月頃に接種した人の予防効果は接種後1か月頃をピークにして少しずつ弱くなっていき、翌年の2月（接種後3～4か月）には予防効果が10%程下がっていくと言われるようになりました。

それでは、いったい、いつ予防接種すれば良いのでしょうか。専門家によって意見が分かれるところではありますが、年が明けてから受験を控えているような受験生を擁するご家庭では11月頃の予防接種が推奨されます。そうでは無い方につきましては、予防接種前に罹患してしまうのが問題となりますので、従来通り10月頃が良いのではないのでしょうか。

参考文献：メディカルレビュー社、インフルエンザ 2016年4月号

インフルエンザ4コマ劇場

～Vol.1 注射嫌い～



ワタナベ ユウキ 作

イベント盛りだくさんの冬を楽しく過ごすために
みんなでインフルエンザを予防しましょう☆